



議会だより

な お し ま

2011 No. 157
平成23年10月7日

発行●香川県直島町議会
編集●広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



ナイスバッティング!!

打った!
走った!
4戦全勝

ふるさと応援寄附金の合計はなんぼ
平成22年度決算・質疑(抜粋) 2~4P

こども映画祭の反省を
町長・教育長報告 6~7P

県の誠意ある対応を望む
活性化対策特別委員会 9P

U・Iターン者に聞く 11P

がんばっりよるで(フラダンス) 12P

直島野球少年団
30周年記念交流大会7月30・31日
(写真は保護者提供)

開催方法は

(9月定例会)

平成23年第4回定例会が9月9日から16日までの8日間の会期で開かれました。9月定例会は決算議会で、町長による平成22年度事務報告に始まり、一般会計・特別会計および簡易水道事業会計の決算を認定、また平成23年度補正予算など18議案、報告3件、意見書案2件などを審議し、いずれも原案どおり全員賛成で可決しました。

訓練は自分から進んで参加を



濱田町長

事務報告 (抜粋)

長引く景気後退等により、個人町民税は減となりましたが、地方交付税・県支出金等の増により、歳入全体では昨年度を上回る結果となりました。

歳出は町の将来を見据えた事業を行うため、離島振興法や辺地・過疎対策事業債などの交付税措置のある有利な地方債の活用、また国の緊急経済対策等の支援により、今後の厳しい財政運営に対応できるよう配慮しました。

また、環境・文化を2本柱に観光・商業や地場産業の育成・開発など多角的経済基盤の確立を図るとともに、第1回目の瀬戸内国際芸術祭を開催し、これらが軌道に乗って確実に進むよう、新生直島としての発展に向けた揺るぎのない土台づくりとなる重要な年度として各種事業の推進に努力しました。

平成22年度
一般会計決算
33億4,000万円(歳出)

主な質疑

- A** (町長) 町内には防犯灯の数は多い。調査を。
Q (浜口) 防犯灯で古いものや修繕を要するものがある。現状の調査を。
A (町長) 自分自身も自ら進んで参加する気持ちが一番だ。
Q (中野) 町長は、防犯訓練を各地区毎でやったらどうかと思っているが。
A (町長) 自分自身も自ら進んで参加する気持ちが一番だ。
Q (井下) 海の駅の仮駐輪場に放置自転車等がある。定期的に整理をすべきではないか。
A (町長) 1年に1回くらいは必要だ。
Q (作田) 石場地区の高潮対策工事が終われば町民専用小型バスを運行するのか。
A (町長) 町民専用小型バスを運行するの。
Q (中野) 県知事は「次回2013年の芸術祭は春・夏・秋に分散して開催し混雑を防ぎたい」と言っているが。
A (町長) 観光客が集中的に来て全部見られない人がいた。町にとっては分けて開催してくれた方がありがたい。

一般会計

- 歳入
総額は町税が減となりましたが、地方交付税などの増により、対前年度比6.0%増の35億6,000万円となりました。
- 歳出
一般行政関係では、町内の独身者に出会いの場を提供するプロジェクト「直島出会い隊」への助成を、また、直島紹介DVDの英語版の作成などを実施しました。
福祉関係では出産奨励金、6歳未満児までの医療費助成、また、従来からの児童手当に代わって子ども手当の支給が開始されました。

特別会計12億9,000万円(歳出)

- 国民健康保険事業
被保険者数は前年度より0.8%増の892人でした。県下では一人当たりの医療費が高いので適正化に向け努力します。
- 診療所事業
医師・看護師等の医療従事者の確保に努め、救急患者搬送体制の充実を図り、町民が安心して利用できる診療所となるよう努力します。
- 下水道事業
22年度は污水管、マンホールポンプ、浄化センターの維持管理が中心でした。今後とも水洗化普及率のアップに向けて努力します。
- 釣公園事業
強風や猛暑のため、入園者数が減となり、一般会計から繰入れをしています。民間への管理委託を含めて検討が必要です。

次回の芸術祭

主な質疑

Q (小野) 町民グラウンドのナイター使用料は安くならないか。
A (教育長) 関係者で検討する。

Q (丸山) 子ども手当4、369万円を支払いの内、町の負担額はいくらか。
A (住民福祉課長) 県とほとんど同額で約460万円だ。

Q (作田) 旧桃山教員住宅地をベネッセに売ったが、残っている土地はあるのか。
A (町長) 全部売ったので残っていない。

Q (井下) 直島紹介DVDを新しく作る予定は。
A (町長) 来年度予算で作りたい。

Q (丸山) ふるさと応援寄附金の合計は。
A (総務課長) 平成20年から始まり13件で187万円だ。

Q (大谷) 診療所会計への繰出金が9、800万円だが、スタッフに減額の改善策をお願いしているのか。
A (町長) 年1回の全体会議で、繰出金を半額にするよう要望している。

Q (丸山) ホタル、ビオトープ工事の進捗状況は。
A (建設経済課長) ホタルの生息が可能なか調査し、可能との答えが出たので入札した段階だ。

Q (大谷) 餌になるカワニナはどうするの。
A (建設経済課長) カワニナは島外からもってきて育てる。

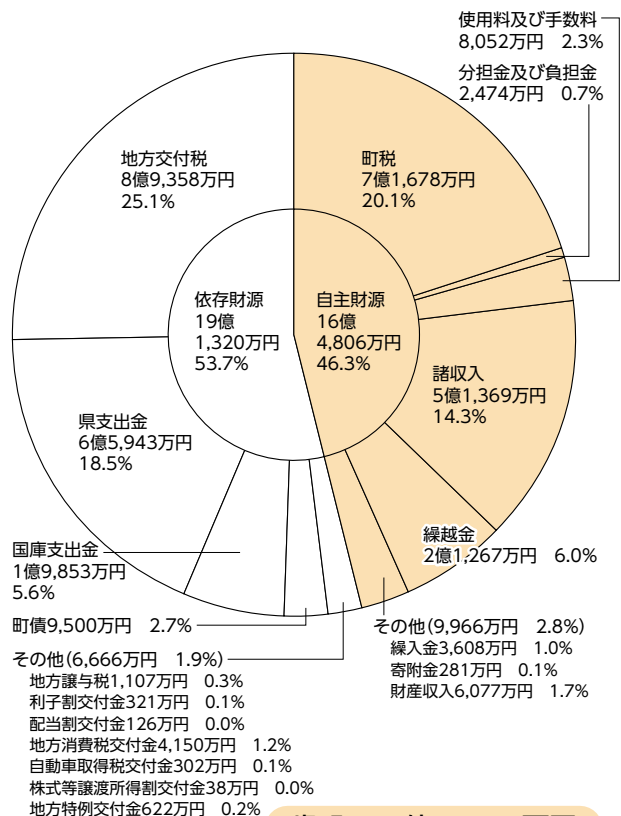


ビオトープ工事予定地(直島ダム西)

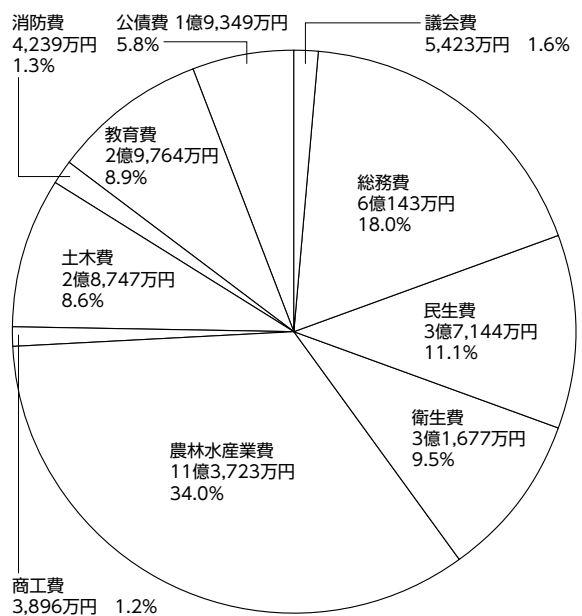
Q (建設経済課長) 賛成(作田) 個人所得の減収などで町税が減となり厳しい状況であったが、地方交付税の大幅な増で財政は所期の目的を達成できている。
 今後も離島振興法・過疎債・辺地債等を有効に利用して、大きな工事等を進めていただきたい。

討論

平成22年度一般会計歳入歳出構成図



歳入 35億6,128万円



歳出 33億4,105万円

(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります。)

釣公園 町民に利用するよう周知して

主な質疑

特別会計

診療所事業

Q (浜口) 胃カメラの検査ができない

とのことだが、有効活用ができるための、維持管理はどのようにしているのか。

A (事務長) 維持管理は定期的に行っている。

下水道事業

Q (井下) 経済的に接続可能なのに

きていない世帯は何軒か (環境水道課長) 町全体の未接続軒数は70軒程度だが、その数はつかめていない。

討論

国民健康保険事業

賛成 (浜口) 徴収率の向上に努力されたい。

診療所事業

賛成 (作田) 一般会計

からの繰入金の減少を期待する。

下水道事業

賛成 (井下) 水洗化率の向上、負担金の徴収を積極的に言い健全財政を目指すよう努力されたい。

釣公園事業

賛成 (大谷) 苦しい運

営で努力していると思うが、町民にも積極的に利用するよう周知してもらいたい。

簡易水道事業

賛成 (丸山) 今後4年間にわたり陸上部の配管工事を、飲料水の安定供給を望む。



工事中の鶴石受水場

滞納が減るよう一層の努力を

監査報告

監査委員 岡田 英機
同 小野 孝一

平成22年度の一般会計・特別会計・簡易水道会計について、証拠書類および関係諸帳簿を基準として審査した結果、会計経理は適正と認めた。

〔主な指摘事項〕

《一般会計》

税の徴収率は高水準を維持しているが、一部で滞納が見受けられるので、完納に向け努力を願う。また、先行きが不透明ではあるが、町の将来を見据え、創意と工夫を凝らした行財政運営を望む。

《特別会計》

〔国民健康保険事業〕

税の滞納が前年度より若干増えているので、滞納額を減らすよう取り組みの強化を願いたい。また、医療費の適正化を図り、健全運営を望む。

〔下水道事業〕

使用料は一部滞納が見受けられる。当会計は、一般会計からの繰入金が大き比重を占めている。水洗化率の向上を図るとともに、負担金、使用料の滞納額の完納と健全な財政運営を望む。

〔簡易水道事業〕

平成23～26年度の4年間で、老朽化の進んでいる配水池等の整備を予定している。経営環境は厳しい状況が予想されるが、水の安定供給、効率的な経営を推進し、また、収入の確保等を抜本的に見直し、一層の経営健全化を望む。



専決処分

急げ、火まつりに間に合わん

直島つつじ太鼓の「大やぐら」の皮が老朽化のため練習中に破れました。「火まつり」の演奏に間に合わすため、修繕費95万円を専決処分しました。

祭の反省を

災害に強い町づくりを



町長報告

濱田町長

(主なもの)

- 6月21日 「007記念館」運営委員会設立総会がエコタウンハウスで開催されました。
- 7月20日 町民専用小型バスについて、積浦バス停までの路線延長、桃山下バス停の廃止、郵便局前バス停の新設など、運行コースとダイヤを改正しました。
- 7月29日 香川県議会の議長及び香川県環境森林部長を議長とともに訪問し、豊島廃棄物等処理事業に係る要望書を提出しました。
- 8月6日 第26回直島夏まつりが町民グラウンドで開催され、大盛況の内に終了しました。
- 8月20日 第10回花火大会「直島の火まつり」をつつじ荘で開催しました。今回は10回目の記念大会として、火まつりライブや打ち上げ花火の充実を図るとともに、恒例のつつじ太鼓の息のあった演技、屋台の出店などで、約1,600人の皆様にお楽しみいただきました。
- 9月1日 香川県と合同の総合防災訓練を町民グラウンドで開催しました。当日は、南海地震による津波を想定した訓練で、自衛隊、消防、警察、自主防災組織、幼・小・中学校など町内外から約850人の参加がありました。

主な質疑

007記念館の運営資金は

Q (小林) 「007記念館」の運営資金に観光協会の年会費をあてることはできるか。

A (町長) ベネッセ、製錬所、四国汽船、観光協会からの寄付でまかなうと聞いている。

カワウ駆除の効果は

Q (井下) 駆除の効果について、農業者、漁業者から報告があったか。

A (町長) カワウやタヌ

キは減っていると聞いている。カラスは効果があがっていないので辛抱強くやりたい。

町民専用バスの乗客数は

Q (丸山) 町民専用小型バスのルート変更後、客は増えたか。

A (町長) 多少増えて、1日10人ほどだ。

火まつりの予算は

Q (井下) 今年の火まつりは第10回で予算を増やしたが、来年はどうするのか。また、屋台の利用

状況は。

A (町長) 同額でと考えている。屋台の出店は商工会にお願いしたが、利用状況はよかった。

こども映画祭の反省を

Q (大谷) 瀬戸内国際こども映画祭の映画は非常によかったが、こどもは

少なかつた。夏休み中の登校日に合わせればよかったのでは。

A (町長) 上映日のうち1日は登校日にあたっていた。教育委員会にも協力を要請したが、宣伝が

不十分だった。

Q (井下) こども映画祭は、実行委員会等との連携がうまくいってなかったと聞いた。実行委員会で反省をするのか。

A (町長) ぜひ反省会を開いてもらい、意見を言いたいと思っている。

ハザードマップの見直しを

Q (作田) ハザードマップの見直しをしようと思うが、海抜何メートルかが分かるマップを作成してはどうか。

A (町長) 県も現在見直

か。

A (町長) 災害に強い町づくりを真剣に考えたい。多額の費用が必要だが早急に進めたい。

直島に有利な協定を

Q (小林) 豊島問題は、特に大きな風評被害はなかったが、今後協定書を結ぶときには終了時点から最低3年は対策費を残すという中身にすべきだ。

A (町長) 漁業組合からも要望が出ると思う。直島にとって有利な協定を結びたい。



こども映画祭のオープニングに参加した仙台の子どもたち(土庄町)

高潮対策は早急に

Q (中野) 台風12号の満潮時に、消防団が可搬ポンプで排水し、効果があつた。今後このような方法をとるしを行っている。町も台風・津波・地震にあわせたマップにしたい。



野球部復活を
検討したい

教育長報告

(主なもの)

- 6月3日 平成23年度高松讃岐地区租税教育推進協議会が高松市民文化センター会議室で開催されました。
- 6月8日 研究開発学校運営指導委員会が小学校会議室で開催され、授業参観とともに研究協議が行われました。
- 7月1日 小・中学校の給食献立に、地産地消の活動として直島産のノリ佃煮が取り入れられ、この日に児童生徒により食されました。
- 7月2日 直島町子ども会育成連絡協議会主催による清掃奉仕活動が開催され、子ども、育成者等が町内海浜や遊園地の清掃を行いました。
- 7月12日 小学校5年生が水産教室の一環として、琴反地海岸他で干潟観察会の学習を行い、県水産課職員等から指導を受けました。
- 7月22日 小学校内に設けている「ふれんどルーム」に対して直島ライオンズクラブおよび商工会女性部より網戸、カーテンが寄贈されました。
- 7月30・31日 直島野球少年団30周年記念交流大会が町民グラウンド他で開催されました。(直島野球少年団は4戦4勝)
- 7月30・31日 中学校生徒会主催による直島一周ゴミ拾いツアーが行われました。
- 8月6日 第26回直島夏まつりが町民グラウンドで開催され、Y・Y・Cがジャンケン大会の運営に関わりました。
- 8月22日 直島町差別をなくし、人権を擁護する審議会が役場会議室で開催されました。
- 8月30日 定例教育委員会が役場会議室で開催されました。

こども映画

主な質疑

行き先は誰が決めるのか

Q (丸山) 中学校の職場体験の行き先は、生徒が決めるのか。

A (教育長) 事前に学習をして、このような場所があるとヒントを提示している。生徒の発想で行っていることもある。

運営指導委員の構成は

Q (井下) 研究開発学校として全国的に注目を浴びることになるが、運営

指導委員の構成などは。

A (教育長) 運営指導委員は、香川大学の先生、県教育委員会職員、公立学校長など5人で構成されている。

野球部の復活は

Q (中野) 直島野球少年団の30周年記念大会が開催され優秀な成績であった。中学校で野球部の復活をしては。

A (教育長) 少年野球は強くなっている。部活に熱心な中学校長であり、

少年野球の保護者会を開く段取りになっている。



間一髪! アウト? セーフ?

ビデオを残しては

Q (大倉) ソーレイエの

踊りは、伝統的なもので伝承できるようにビデオを撮っては。

A (教育長) 郷土芸能保存会などもあるので、撮影など考えていきたい。

中学校の活動が教科書に

Q (井下) 中学校生徒会の作文が社会科の教科書に載るようだが、町民・生徒に見せられないか。

A (教育長) 文科省の検定をパスしたもので、教科書に載っていると紹介したい。

こども映画祭を
もっと盛り上げて

Q (井下) 瀬戸内国際こども映画祭は、子どものためのイベントであり、教育関係者も企画に参加すれば、もっと盛り上がるのでは。

A (教育長) 映画が上映されるので子どもたちが多勢参加すればと思う。中には難しい映画もあったが、このような企画は活用したい。

委員会レポート

8月22・23日の両日、合同常任委員会を開催しました。各課から現状報告を受け、活発に議論を交わしました。主なものを報告します。



作田 宏 委員長



中野 善正 委員長

経済・民生

- ① 外来患者 1日平均74・9人
- ② 入院患者 1日平均8・2人
- ③ 時間外救急患者 1日平均 2人
- ④ 骨密度検査 14人
- ⑤ 特定検診 17人
- ⑥ ショートステイ等 介護利用は8月1日より6床から9床になり、利用者増となった。

総務・文教

- 〔総務課〕
町民専用小型バス運行コースダイヤ改正
○7月20日 積浦バス停までのコース延長、桃山下バス停の廃止、郵便局前バス停の新設とダイヤの改正を行った。
- 桃山周辺の方々への運行止めの説明は、A「やむを得ないな」ということだった。

合同委員会

- 〔ふれあい診療所〕
6床から9床に増床
○4月から7月までの診療状況
- 〔建設経済課〕
5年生がアマモの勉強
○007記念館は寄付金で運営できるようになった。
- 2回にわたって水産教室を琴反地で実施。これに小学校5年生27人が先生とともに参加し、アマモ等の勉強をした。
- 新聞で県内の防潮施設の進捗率が発表され、直島は26%と低かった。要因は第2期工事計画も計算に加えたため。
- 夏まつりの参加者800人、火まつりは、

- 〔総務課〕
両市・町の問題点を議論
○7月22日 玉野市・直島町連絡協議会を直島で開催。当町からの提出議題は①瀬戸内国際こども映画祭 ②総合防災訓練の実施 ③豊島廃棄物等中間処理事業の進捗状況の3件だった。
- 〔自衛隊にも応援要請〕
○8月9日 井島西側で林野火災発生、消防全

- 約1,600人だった。
- Q 本村から積浦行き道路(石井建設からの下りカーブ付近)は事故が多いので「危険」等の看板を設置してはどうか。
- A 検討してみる。
- 〔環境水道課〕
太陽光発電補助に申請6件
○3月から7月までの水道受水量は、1日平均4,335m³。
- 鶴石受水場からの送水管更新は450m進んだ(進捗率25%)。ダクタイル鉄管、直径250mm使用。

- 分団を招集するとともに香川県防災航空隊に出動を要請して消火に当たったが火勢が衰えないため自衛隊に応援を求めた。上空から大規模な消火活動を行い14日17時にやっと鎮火することができた。なお、原因については、高松北警察署が調査中。
- Q 団員で熱中症が出たと聞いたが。
- A 3人だが全員無事だった。



出会い隊イベント、ラフティングツアーin徳島

- 〔住民福祉課〕
レファシードいつも満杯
○8月1日現在の水洗化率は94・98%、下水道普及率は93・02%。
- 浄化槽設置補助事業として5人槽3基・7人槽2基を予定している。
- 太陽光発電システム設置補助事業は23年度も10件(5万円/kwで4kwまで) 予定しており、6件の申請が来ている。
- 特定検診受診者、国保123人・後期高齢者91人計214人
- レファシード直島の状況

- 〔ラフティングで愛を言ひ〕
○8月21日 直島出会い隊イベント第12弾「真夏のラフティングツアーin徳島」男性18人、女性18人計36人が参加交流。ベスト1カップル3組・ベスト3以内カップルが5組成立。近い将来が楽しみだ。

- 〔教育委員会〕
少年スポーツ教室は
○8月2日 香川オリブガイナースの選手による野球の指導を受けた。
- Q 種目はどこで決めるのか。
- A 体協の理事会で決める。
- ① 入所者数50人(うち町民41人) 待機者数45人
- ② ショートステイ事業 7月延べ148人
- ③ デイサービス営業日数25日、登録者45人、月間延べ472人
- ④ 小規模多機能通所サービス利用者6人(定員6人)
- Q 福祉センター劇場ホール音響設備が老朽化しているので更新を考えてほしい。
- A 検討する。

- 〔教育委員会〕
少年スポーツ教室は
○8月2日 香川オリブガイナースの選手による野球の指導を受けた。
- Q 種目はどこで決めるのか。
- A 体協の理事会で決める。



委員会で県に強く要望



井下 良雄 委員長

県の誠意ある対応を望む

活性化対策特別

7月13日・8月23日の両日、委員会を開催しました。7月13日、議題を「豊島中間処理施設の処理終了後の利用について」とし、町長・副町長および担当課長出席の下、県の回答に対して意見交換を行いました。

県の回答内容は、
 ①溶融炉の活用はコスト面や、処理対象物の安定確保等の観点から困難。
 ②溶融炉を除いた施設は三菱マテリアルに譲渡の方向で協議。
 ③町の一般ゴミ処理は町が整備し、県は一定の支援をする。
 というものでした。

議員から
 ○一定の支援と言うがいつ答えが出るのか、早く答えを出すように。
 ○施設の作業者が終了後も働ける職場を。
 ○県の回答は不十分。もっと誠意を示すように。等、多くの意見が出され、町長から「意見を参考に、県に要望書を提出したい」との考えが示され、会を終了しました。

8月23日、県から環境森林部長他7人、町から町長他5人の出席を求め委員会を開催しました。議題は
 ①豊島廃棄物の処理量増加による計画の見直しについて。
 ②要望書に対する県の回答について。

町長から「計画変更にあたり、協定書の見直しや町民への周知をきちんとするように」。部長から「24年度末終了の計画を、延長せざるをえない状況になった。県政の最重要課題として取り組む」との挨拶の後、協議に入りました。

議題①について、県の説明は「処理量は20ㄱ23・7万トンの増、期間は3年1カ月ㄱ3年6カ月程度延長」でした。

議員から
 ○主な増加要因は密度の差だ。今まで密度測定を定期的にしていないのか。
 ○3月から6月の調査なのに、結果が遅いのはなぜか。
 ○住民に十分な理解を得るため、説明用パンフレットの早急な配布を。



中間処理施設に搬入している豊島産廃

等、多くの質問・意見があり、委員会として、
 ○住民への適切な周知を早急に。
 ○県と町で交わしている協定書の見直し変更を。必ず、延長した計画が期間内で終了するように。
 の3点を要望しました。議題②について、

議員から
 ○一次回答より二次回答は良くなった。
 ○時が経てば双方とも担当者が替わる。申し送りをしっかりして、誠意ある対応を望む。
 等の意見が出され、県に対し二次回答どおりの対応を約束し、会を終了しました。

平成23年度補正予算



台風でこわれた釣りいかだ

一般会計

- 外新田町営住宅の火災による建て替え、また、京ノ山地区崩落防止工事などにより5、859万円を追加しました。
- 歳入
 - 繰越金
 - 5、859万円追加
- 歳出の主なもの
 - 外新田住宅、設計新築
 - 5、218万円追加
- 京ノ山地区崩落防止
- 120万円追加

特別会計

- (釣公園事業)
 - 去る9月3日の台風12号により釣りいかだが2基こわれたことによる改修・製作費として140万円を追加しました。
 - 歳入
 - 施設使用料
 - 140万円追加
 - 歳出
 - 釣りいかだ製作等
 - 140万円追加

議会の動き

平成23年 7月

- 13日 活性化対策特別委員会
- 13日 総務文教・経済民生合同常任委員会
- 22日 玉野市・直島町連絡協議会
- 25日 県広報発行町議会連絡協議会研修会
- 26日 千葉県千葉市議会行政視察に来町

平成23年 8月

- 5日 神奈川県横浜市議会行政視察に来庁
- 22日・23日 総務文教・経済民生合同常任委員会
- 23日 活性化対策特別委員会
- 24日 韓国木浦市議会行政視察に来庁

平成23年 9月

- 6日 議会運営委員会・広報編集特別委員会
- 9日～15日 平成23年第4回定例会
- 12日・15日 総務文教・経済民生合同常任委員会
- 16日～30日 広報編集特別委員会
- 26日～28日 常任委員会・広報委員会県外研修(群馬県中之条町・昭和村)

漁業者の経営安定措置を

「漁業用軽油にかかる引取税の免税等を求める」
 漁業においてのコストに占める燃油のウエイトは極めて大である。
 漁業者の経営安定を維持するため、国会および政府に漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税等の措置を要望する。
 (提出先) 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣他

意見書を提出

離島の生活改善のため

「離島振興法の改正・延長を求める」
 昭和28年の離島振興法制定以後、離島の生活条件はかなり改善されてきた。しかし、高齢化や割高な流通コスト等、離島の環境は依然厳しい状態が続いている。
 よって国は、離島自治体が自主・自立性を発揮し、離島の生活環境がさらに進むよう、離島振興法の改正・延長を強く要望する。
 (提出先) 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣他

どんどん応募して下さい!
 表紙用の写真募集
 (議会だより用)

直島町議会広報委員会では議会だよりの表紙用の写真「地域のイベントや子供たちを題材とした写真」を広く町民から募集します。採用分には、記念品をお送りします。
 なお、詳細は議会事務局(TEL八九二一・二一九七)までご連絡ください。

素敵な人々と豊かな自然

第9回

U・iターナー者に聞く



園藤 曜一さん・真木子さん

Q まず、ゴミが1つも落ちていなかったのに驚きましたし、花がたくさん咲いていたのも気持ち良かったです。「アート」をきっかけに、自然の美しさと人の優しさに感動して帰りま

Q 直島の町民になろうと決心した動機は。
A 「素敵な人たちがいて、豊かな自然がある」「直島で時間を過ごしていると、心が豊かになれる」「直島にいると自分らしくいられる」これ以上ない理由がたくさんあったからです。
Q お二人の出会い。
A 音楽イベントで会いました。お互い音楽活動をしていて、応援し合っていた友達でした。



観光客に親切に説明しています

がとうございます。
A (真木子さん) 東京にいた時よりも、人間らしい生活が送れていて、長生きできそうな気がします。
Q 今後の夢は何ですか。
A (曜一さん)

今回は本村でお住まいのUターナー者の園藤曜一さん、真木子さんご夫妻に登場いただきました。

Q 直島に来られたのはいつ頃ですか。

A 初めて来たのは、2年前のゴールデンウィークでした。東京に住んでいましたが、それから10回ほど来て、今年の4月から直島住民で、妻は8月からです。

Q 初めての直島の印象は。



観光案内所で働いています

ようと決めた時、奥様の気持ちは。
A 正直、会社を退職する決断をするのは、勇気がいりました。ただ、私の実家が岡山県で近かったこと、主人が直島に住むのが夢だったので、観光協会の仕事が決まった時は良かったなと思いました。

Q 5カ月の島生活です、感想は。

A (曜一さん) 直島に住んで楽しく仕事もでき、充実した日々が送れています。島民の皆様には本当に感謝しています。あり

「素敵な人が多く、豊かな自然があり、人生のコンパスであるアートがある」まだ子供はいませんが、直島は子育てをするのに最高の場所だと思えますので、ぜひとも子育てをしたいですね。
A (真木子さん) ありがたいですが、一軒家で家族仲良く暮らすことです。

どうも貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。これからも二人仲良く、島生活を楽しんで下さい。

がんばりよるで



大山 紗夏ちゃん、高崎 日菜子ちゃん

U Q 今回の玉野市のスタジオでフラダンスを習っている、とてもかわいい高崎日菜子ちゃんと大山紗夏ちゃんの登場です。
U (U・ひなこちゃん さ・さやかちゃん) 二人の歳はいくつですか。 7歳、2年生です。

さ 7歳、1年生です。

Q 週に何回練習していますか。

U (二人) 週に1回通っています。

Q 船で練習に行くの大変だね。つらいことないですか。

U いつも紗夏ちゃんと一緒に、お絵かきしたりおしゃべりしたり、楽しいです。

さ 疲れてお風呂で寝てしまうこともあるけど、日菜ちゃんと船で遊ぶのが楽しいです。

Q フラダンスのお友だちはいっぱいできたかな。

U たくさんできました。みんな学校も学年もちがうけど、なかよくレッスンしています。

さ 私は一番年下なので、みんなにかわいがってもらっています。

Q 今までに大会やイベントに出場しましたか。これからの予定は。

U (二人の母) 今年3月に東京で行われた、ホオラウレアジャパンという大会に出場し、優勝できました。すばらしい感動と貴重な経験は、二人にとって大切な宝物になりました。

東京の大会で優勝しました

勝つことができました。すばらしい感動と貴重な経験は、二人にとって大切な宝物になりました。

な宝物になりました。

この夏は、玉野祭りやマリホテルのデイナ一等のステージで踊らせていただきました。また、老人ホームにもお邪魔しました。

11月13日に福祉センターで行われるイベントに出演予定です。

Q お父さん・お母さんに何かお願いがありますか。

U お父さん、また大会に出場する時は会場に来て応援して下さい。お母さん、いつもレッスンへつれていってくださりありがとうございます。

さ お父さん、いつも港まで迎えに来てくれてありがとう。またフラダンス見に来てね。お母さん、いつも応援してくれてありがとう。これからもがんばるからね。

Q 最後に二人のお母さん、子供さんたちに何か一言。

U (二人の母) たくさんの人に支えられ、すばらしい経験ができていることを忘れず、これからもフラを楽しく続けてくれたらうれしいです。

さ (母) 家族みんなで応援してるよ。紗夏が楽しそうにフラを踊っている姿を見るととても幸せな気持ちになります。これからも笑顔いっぱいで見られている人に幸せを与えられるようなフラを踊ってね。一緒にがんばろうね。



お友だちとなかよくレッスンしています

これからも二人なかよくフラダンスを踊って下さい。そして色々な大会に出たり、お友だちもいっぱいできると思いますね。

どうもありがとうございました。

「ガンバレ！ 日菜子ちゃん、紗夏ちゃん」

編集後記

第1回の瀬戸内国際芸術祭が盛大に開催され、終了してから、はや、1年が経とうとしている。先頃の県議会で、浜田県知事が、第2回の芸術祭は春・夏・秋と時期をずらして開催したいと発言している。開催場所となる各島々にとっては、その方が、より活性化しやすくなるのだろうか。

話は変わるが、町外へ出て行かれた方が、話をしているのを小耳にはさんだ。「時々、直島へ来るが、そのたびに町内の様子が、がらりと変わっているのに驚く。直島が生きていて、いるような気がするが一方で島が都会化し、いなかの良さが失われているような気がする」と話していた。皆様は、どのように感じておられるでしょうか。議会だよりの表紙写真や、ご意見、ご要望をお待ちしております。

(小野記)

広報編集特別委員会

- 議長 蓬 清二
- 委員長 丸山 義朗
- 副委員長 作田 宏
- 委員 議員全員